

**今月の話題**

- 地域の取組①上士幌町 ..... 2
- 観光ホット情報 ..... 2~3
- NATAS TRAVEL2007に出展 ..... 4
- 広州国際旅游展鎖会に出展 ..... 4
- ホスピタリティ運動のポスターなど作製 ..... 4
- 北海道さっぽろ「食と観光」情報館の愛称決定 ..... 4



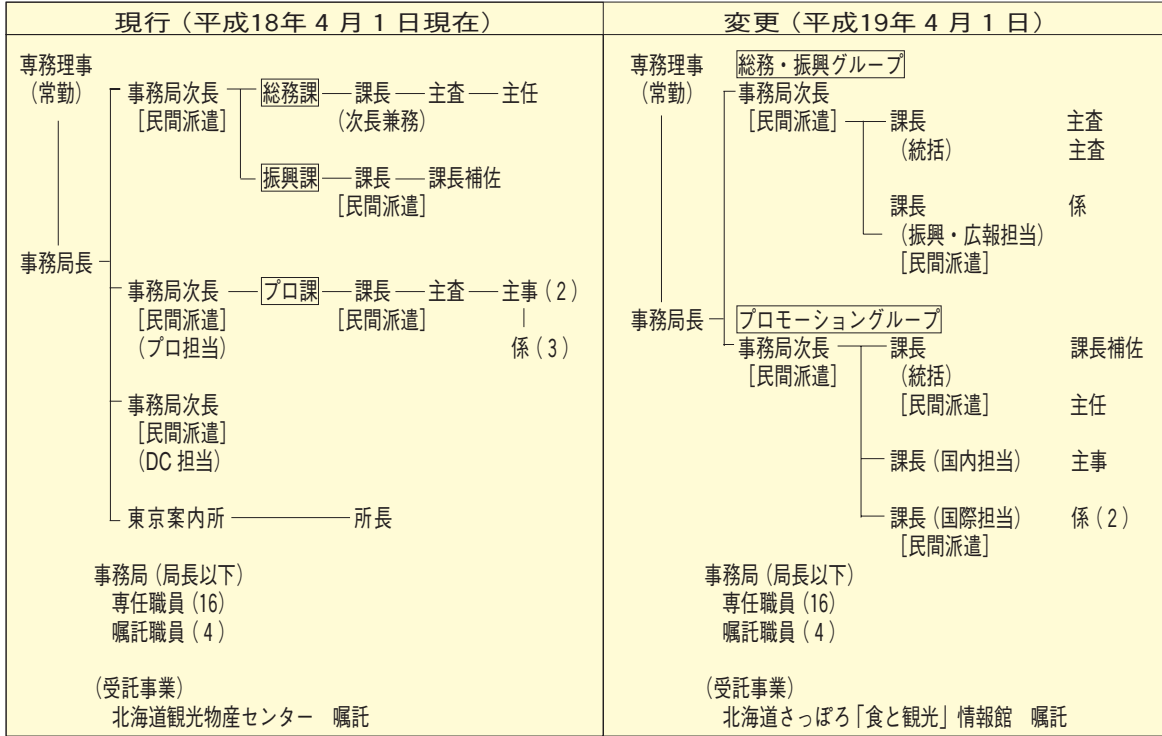
**社団法人 北海道観光連盟**

発行人 我孫子健一  
 編集人 塩谷 敏雄

札幌市中央区北3条西7丁目  
 緑苑ビル2階  
 ☎060-0003 TEL ☎231-0941

題字は薩願間

**事務局組織変更**



**平成19年度事業計画、暫定予算(案)承認**

**当連盟理事会 組織変更、新規加入会員も**

当連盟の平成十八年度第二回理事会が三月二十三日、札幌グランドホテルで開かれ、本年度は道予算が骨格予算にあたることから、平成十九年度四月から七月までの事業計画、暫定収支予算(案)が審議されたほか、組織の変更、新規会員の加入についても承認されました。

理事会には委任状を含め、理事四十六名、監事一名が出席しました。冒頭、我孫子健一当連盟会長が挨拶に立ち、「しばらく低迷していた観光客の入り込み数も、地域差はあるが上向き傾向にあり、今年度についても皆様の支援でさらに増加するよう努力していきたい」と述べ、積極的な活動方針を要望しました。

具体的には十九年度の重点項目は①観光情報の充実と提供②国内宣伝誘致事業の推進③国際観光事業の推進④受入体制の整備促進などで、①については観光情報の収集・提供・調査と、情報誌「観光北海道」の発行、JR札幌駅構内の「北海道さっぽろ「食と観光」情報館」観光コーナーでの旅行案内・相談・観光情報提供業務の実施、インターネットによる情報提供、②では旅行エージェンツの招へい、観光催事への出展、季節・地域観光集中キャンペーン事業、花観光の推進など、③では国際旅行博覧会への出展、札幌・北京線就航記念訪問団の派遣など、④では観光ホスピタリティ運動の推進、北海道観光ボランティアネットワークの増強、協議会への支援を行います。

七月までの暫定収支予算は一億六千七百万円規模の事業活動収支となっています。

北海道さっぽろ観光案内所の特別会計暫定予算も七月まで、二百七十万円(四人分人件費相当分)規模の事業活動収支

となつていきます。承認された新規加入会員は次のとおりです。

- ▽シーニックバイウェイ支援センター(中間法人/札幌)▽ヨミックス
- (広告代理店/札幌)▽北海道ツーリズム研究所(企画・制作/札幌)▽
- デイリーインフォメーション北海道(広告代理店/札幌)▽白馬堂印刷(印刷/札幌)▽楽天トラベル(旅行会社/東京)

ゴア元副大統領の映画「不都合な真実」の大ヒットや温暖化、季節はずれの雪などによる異常気象の身近な体験で、今、多くのヒトは環境破壊を実感し、その対策を真剣に考え始めている。しかし、環境破壊と共にヒト体内環境も破綻し始め、昔はなかった体の異変が最近、子供に次々と起こっていることにはあまり気づいていない。数十年前には日本ではあまり耳にしなかったアレルギーの増加、あるいは小学生低学年における糖尿病や腎結石の発症などが代表的な事例である。

19年度の観光施策のコンセプトが「健康と癒し」であることから、北海道大学遺伝子病制御研究所・免疫制御分野の教授で、

◆著者プロフィール◆  
 西村 孝司  
 北海道大学遺伝子病制御

免疫 RESORT

北海道の子供たちがシラカバ花粉症の増加と相まって食物アレルギーの罹患率が全国1になったという調査結果も報じら



「健康を考える観光」拠点づくりを  
 北海道に、世界に発信できるヘルスツーリズムの拠点を

御研究所・ROYCE健康バイオ研究部門(寄付研究部門)教授・NPO法人イムノサポートセンター理事  
 東北大学大学院薬学研究所修士、米国ハーバード大学医学部ダナファーターバイン研究所 留学、東北大学医学部第三解剖学講座助教授、東海大学医学部助

これら現代社会の大問題を克服して安心安全な社会、生活を取り戻すために、真剣にライフスタイルイノベーションを考へ始めるならば、ヒトの健康寿命が短くなる日が来ることも否定できない。イノベーションとは革

良い美味しい物を食べ、森林浴をし、温泉につかり、日頃のストレスを解消しながら健康を考えることができる「健康を考える観光」の一大拠点を北海道に創り、地域再生にも貢献できる大プロジェクトなのか」と理解していたら幸いです。

新という意味であるが、決して新しいことを考え出す必要はなく、昔の良いたところを見直してそれを如何に現代の社会や生活に組み込んでいくかを考えることが必要である。すなわち、健康に良い食や環境を見直すことである。

科学的根拠に基づいた

西村 孝司

健康バイオ産業の活性化に繋がるだけではなく、最終的には、ドイツのクワハウスのような世界に発信できる「健康を考える観光」の一大拠点を北海道に創り、地域再生にも貢献できる大プロジェクトなのか」と理解していたら幸いです。

「健康を考える観光」拠点づくりを  
 北海道に、世界に発信できるヘルスツーリズムの拠点を

西村 孝司

健康バイオ産業の活性化に繋がるだけ